

(常磐地区まちづくり検討会)
第3回ワーキンググループ会議
(HuLabo②)：商店街にぎわいづくり WG)
要 旨

■ 日 時

令和4年4月～5月

※第3回ワーキンググループ会議については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議開催方法を変更し、メンバーの皆様と個別に意見交換をさせていただきました。

■ 場 所

個別訪問による

■ 意見交換の内容

基本的な考え方、検討のエリア、実施主体

■ 主な意見（要旨） ○：関係団体委員

- 観光の情報発信は、女性一人でも専門の方が携わるような形でないとやりきれないのが現状です。
- 月岡温泉のような成功事例を上手く取り入れていただきたい。
- 成功事例が1つできれば新規事業者も増えるのではないのでしょうか。
- ロードマップのイメージはいいと思いますが、実際に地域の誰が、またはどの団体がリードして進めていくのかは議論した方がいいと考えます。
- 湯本地区は昔から“浴衣を着て歩ける”がまちのコンセプトとなっています。
- 商店街の賑わいに向けて、地区内で完結するような仕組みづくりが重要になるのではないかと考えます。
- 初期投資を少なくするため、新規店舗の出店ではなく、既存店舗から展開する方がいいのではないかと考えます。また、リノベーションを行う場合は、店舗に入りたくなるような工夫が必要だと思います。
- 炭鉱で栄えた町の歴史も残していただきたいと考えます。フラと炭鉱を両立した街並みを検討していただきたいです。
- もう少し計画の全体像が見えてくれば新規事業者として興味を持たれる方が出てくるのではないのでしょうか。
- 新規出店を検討している方に対して、経営のノウハウを教える仕組みも必要ではないかと思えます。

- 改修等で新規出店を検討している事業者等に対して、補助金などの支援を検討していただきたいです。
- 街の一角や建物の一部のスペースにD I Yができる場所があるといいのではないのでしょうか。